

【資料3】

忍者ツーリズム創造事業について(案)

1. 目的

名張市の観光レクリエーション入込客数は、近年横ばいからやや微減傾向にあるとともに、赤目四十八滝も平成4年の34万4,293人をピークに減少を続け、近年15万人程度で推移しています。

本市全体の観光振興のためには、主要観光施設であり本市の観光を牽引してきた赤目四十八滝へのさらなる誘客のための対策が重要であると考えています。

そんな中、“忍者”は本市の大きな観光資源であるにも関わらず、現状において活かしきれていないように感じるとともに、外国人からの認知度が高く人気のコンテンツであり、2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックや2025年の大阪万博に向け、外国人誘客の大きなツールに成り得ると考えます。

こうしたことから、本市に残る本物の忍者に関し、“自然”や“精神”を切り口に学術的に整理することで本市特有の新たな観光商品を造成し、観光誘客と地域経済の活性化に取り組みます。

2. 事業の概要

アジア各国からの旅行者が忍者の「アクション」を好むことに対し、欧米系の旅行者は「精神」を求めていると言われる中、伊賀流忍者の棟梁にあたる上忍 百地三太夫の歴史、修験道の開祖とされる役行者の精神やそのルーツ、加えて修行の場であった赤目四十八滝の険しいながらも美しい自然や今も姿を残す中世の城館跡などは、欧米系外国人旅行者を誘客するための魅力ある観光資源です。

こうした資源を活かし、本市でしか体験できない、また学ぶことのできない名張特有の観光商品を関係団体や事業者、地域の皆さんとともに作り上げ、世界発信に取り組みます。

○赤目エコツアーデスク2階の改装による「(仮称)なばり忍者博物館」の整備

○忍者ツーリズムの推進 ※事業ごとの具体の取組は現段階ではイメージです。

☆プロモーション事業

- ・忍者プロモーション動画の作成
- ・日本忍者協議会や中部国際空港忍者プロジェクト等との連携によるPR
- ・東奈良名張ツーリズムマーケティング等との連携によるセールス

☆旅行商品の造成事業

- ・滞在型観光商品「(仮称)なばり忍者塾」の開講
- ・溪谷の自然と精神修行体験ツアーの企画(忍者の森の充実)

☆その他の環境整備事業

- ・忍者ゆかりの観光地整備(砦跡や中世の城館跡の手入れ)
- ・なばりの忍者マップや忍者ガイドブックの作成

※国の地方創生推進交付金を活用し、平成31年から3年間で取り組むこととし、現在、交付金申請に向け、国(内閣府)及び市財政との協議を進めています。

以上